

令和3年3月19日  
坂東地域農業改良普及センター 発行  
Tel : 0297-34-2134 Fax : 0297-34-3291



HPは  
こちら

## 農業簿記研修会を開催しました

2月1日、坂東普及センター主催により、新型コロナウイルス感染症防止対策をとった上で「令和2年度坂東地域農業簿記研修会」を開催し、アグリセミナー受講生を含む管内の新規就農者・若手農業者6名が受講しました。まず、ソリマチ㈱の原田氏から、①複式簿記の基礎、②パソコンを活用した簿記記帳の流れについて講義を行い、青色申告や「ソリマチ農業簿記」の操作方法等について説明しました。

研修会の後半では個別相談の時間を設け、受講者各自のパソコンを用いながら財務諸表の作成等についてアドバイス、支援を行いました。

講座を通して、受講生からは「青色申告のメリット等が参考になった」、「簿記ソフトの操作方法について、詳しいところまで学べて勉強になった」等の声がありました。

普及センターでは、若手農業者に向けて、今後も栽培技術や先進事例、経営管理等のセミナーを開催し、新規就農者の育成・定着に努めていきます。



## 春レタスが終わったら緑肥を作付けしましょう

坂東地域では、土壌の物理性改善、過剰な無機態肥料成分の吸収（クリーニングクロープ）、地力増進などを目的に緑肥の導入が進んでいます。一方、秋レタス等では、線虫の被害により（図1、2）、根の異常や小玉化になる事例がみられます。種類によっては、土づくり効果に加えて線虫の密度低減効果もある緑肥もあるので、状況に応じて緑肥の種類を検討するとよいでしょう。

なお、線虫密度低減を目的とした緑肥の作付けを行う場合は、左下の3点に注意してください。

- 線虫の種類により、効果的な緑肥の種類が異なるため、適切な種類を選定する（表）。
- 線虫の活動期に作付けを行う（6～10月の高温期に活動が活発になる）。
- 被害が大きい場合は、緑肥だけでは十分な密度低減効果が得られないことがあるので、薬剤防除を組み合わせる。

図1：ネグサレセンチュウ被害根 図2：ネコブセンチュウ被害根



侵入部位が壊死してシミができる。



寄生部位にコブができる。

表 線虫密度低減効果のある緑肥の例

種類	品種（種苗メーカー）	線虫抑制効果		播種時期 （春夏播き）	播種量 （/10a）
		サツマイモ ネコブセンチュウ	キタ ネグサレセンチュウ		
ソルゴー	つちたろう（雪）	◎	—	5月中旬～8月中旬	5kg
エンバク野生種	緑肥ヘイオーツ（雪）	—	◎	3月上旬～5月下旬 8月下旬～9月中旬	10～15kg 線虫対策：15kg
スーダングラス	ねまへらそう（雪）	○	○	5月中旬～8月上旬	5kg

雪：雪印種苗 凡例 ◎：効果あり、○：やや効果あり、×：効果なし・増加する、—：不明  
<利用方法>

栽培期間：播種後60～90日 ※雑草化を防ぐため、出穂前・開花前にはすき込む。

※ヘイオーツ、ねまへらそうは管内では春播きで約60日ですき込んだ事例有。

分解期間：すき込み後30～45日（ヘイオーツは20日程度） ※秋すき込みは分解期間を長めにする。

当所では、レタス線虫診断・防除マニュアルを作成しています。管内農業者の希望者は、ご連絡ください。

# 時期・状況に応じたイネ縞葉枯病対策を行いましょ

## イネ縞葉枯病とは

病源となるウイルスを保毒したヒメトビウンカが稲を吸汁することによって感染・発病する病気で、一度発病すると治療できません。そのため、イネ縞葉枯病の被害を抑えるためには、ヒメトビウンカの防除が重要です。

発病株は、葉や葉鞘に黄白色から黄緑色の縞状紋斑を生じます。また、水稻の生育初期に発病すると新葉が葉先からこより状になって枯れあがります。穂は出すくみとなり、粃が奇形や不稔となります。本病の被害が大きい場合減収します。



イネ縞葉枯病の病徴

## 時期・状況に応じた防除を

ヒメトビウンカは、周年場所を変えて生息しています。地域全体で発生状況に応じた耕種的防除および薬剤防除の組み合わせが必要です（下図）。

**薬剤防除（育苗・生育期）** 水稻に飛来・発生したヒメトビウンカを防除するため、育苗箱施薬や本田散布（6月中下旬目安）を実施しましょう。また、発病が多い地域では、育苗箱施薬と本田散布の両方を組み合わせる「体系防除」が有効です。



ヒメトビウンカ成虫

**耕種的防除（収穫後の耕起・除草）** 再生稲（ひこばえ）や水田周辺の雑草内でヒメトビウンカが越冬すると、翌年の病気の発生源となります。稲刈り後は耕起を早めに行うとともに、畦畔等の除草を徹底し、ヒメトビウンカの生息・越冬場所を無くしましょう。

**耕種的防除（抵抗性品種の利用）** 抵抗性品種はほとんど発病しません。作付けを拡大することで地域内のヒメトビウンカの保毒虫率を徐々に下げる効果も期待できます。

（例：一番星、にじのきらめき、ふくまるSL、あさひの夢、夢あおば、月の光、ひたち錦等）。

栽培管理（水稻）		播種	移植									収穫			
ヒメトビウンカの生息場所		麦類													
		イネ科雑草										再生稲、イネ科雑草			
防除	耕種的	抵抗性品種の利用													
	薬剤	育苗箱施用			本田散布						秋季耕起			イネ科雑草の除草	
月	3月	4月	上	中	下	上	中	下	上	中	下	8月	9月	10月	11~2月
			5月			6月			7月						

↑ヒメトビウンカの生息場所と防除対策

※農薬を使用する際にはラベルを見て、対象作物や希釈倍数、使用時期、使用回数を良く確認して使用しましょう。

## 4月 土壌診断実施日のお知らせ

4月7日（水）、4月21日（水）の2回

- 個人の農家の方が対象です。
- 受け付けは前日まで可能ですが**先着順となります**ので、お早めにお持ちください。電話等での**予約は行っておりません**。
- 1回の診断で50点までの分析となります。超えた場合には次回の診断日となります。
- **1人あたり5点以内**の持ち込みでお願いします。

## 編集後記

坂東地域農業改良普及センターに異動して早1年、初めての異動、かつ初めての水稻担当として、大変ご迷惑をおかけしましたが、毎日刺激をいただきました。ありがとうございました。来年度も引き続きよろしく願いいたします。（栗原）